

年末年始 貸出拡大のお知らせ

12月29日(日)～1月3日(金)の期間は、
年末年始のため休館いたします。
それに伴い、下記期間中は資料の貸出点数・貸出期間を拡大します。

図書・雑誌 12月10日(火)～12月28日(土)
貸出期間 **3** 週間

視聴覚資料 12月17日(火)～12月28日(土)
貸出期間 **2** 週間

貸出点数 最大 **15** 点まで(雑誌は5冊、視聴覚資料は1点まで)

冬のわくわく♪としょかん教室

【日時】1/13(月・祝) 10:00～11:30

【場所】ユメニティのおがた小ホール

【定員】15名

【内容】冬のおはなし会・かるた大会
お守り袋づくり

【申し込み期間】12/11(水)～22(日)
(カウンターまたは電話にて受付)

*申込多数の場合は抽選となります。
詳しくはチラシをご覧ください。

館内展示コーナーのご案内

一般書 『理系の本棚』

児童書 『何になる?お仕事 やってみよう!お手伝い』

1/28(火)まで



TEL.0949-25-2240 直方市山部 301-11

開館時間 火～土 10:00～19:00

日・祝 10:00～17:00

12月

DECEMBER

図書館カレンダー・イベント

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			



- 12/7日(土) 14:00～ おはなし会(やまびこ会)
- 10日(火) 11:00～ 乳幼児向けおはなし会(麦のこ)
- 14日(土) 11:00～ おはなし会(まほうの箱)
- 15日(日) 10:00～ おもちゃ病院 <*受付は13:00まで> ●
- 20日(金) 10:15～ 大人の朗読講座 *要事前申込 ▲
- 21日(土) 11:00～ おはなし会(赤ずきん)
- 14:00～ ブラックパネルシアター (なのはな教室) ★
- 22日(日) 11:00～ おはなし会(図書館職員)



1月

JANUARY

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	



- 1/11日(土) 14:00～ 土曜シアター『荒野にて』(122分) ★
- 14:00～ 認知症カフェ図書館 *要事前申込 ◆
- 13日(月祝) 10:00～ 冬のわくわく♪としょかん教室 *要事前申込 ★
- 14日(火) 11:00～ 乳幼児向けおはなし会(麦のこ)
- 17日(金) 10:15～ 大人の朗読講座 *要事前申込 ▲
- 18日(土) 11:00～ おはなし会(赤ずきん)
- 19日(日) 10:00～ おもちゃ病院 <*受付は13:00まで> ●
- 14:00～ おはなし会(れろの会)
- 25日(土) 13:30～ 本の修理講座 *要事前申込 ▲
- 26日(日) 11:00～ おはなし会(図書館職員)

太字は17時閉館、■は休館日、○は行事のある日です。

〈開催場所〉 ★:ユメニティ小ホール ◆:ユメニティ会議室3
▲:筑豊文庫資料室 ●:図書館前ロビー ほか:おはなしコーナー

『銀河の図書室』 名取 佐和子/著 Fナ

主人公チカは、県立野垂高校の宮沢賢治研究会「イーハトー部」の高2男子。去年、どん底だった彼を救ってくれた部長の風見先輩が、ある日学校から消えた。チカは、イーハトー部の仲間達と賢治作品を紐解きながら先輩の謎を追う。最後に、心のトラウマを抱えながらも先輩がチカに出したご褒美とは…。高校生達の成長と、宮沢賢治の興味深いエピソードも楽しめます。

(るー)

『ショートケーキになにのせる?』 おおの こうへい/さく・え E913 オ

こどもの頃、何かをがんばったときのご褒美といえばケーキでした。

本書では、ショートケーキのうえにのっているいちごを、ほかの赤いものにすれば、もっとおいしくなるのではと考えたきょうだいの妄想に思わずクスツとなります。

(ダック)

『洋菓子を楽しむ教科書』 吉田 菊次郎/著 383.8 ヨ

自分へのご褒美に食べたくなる甘いもの。その中でも、チョコレートやケーキなど様々なお菓子がありますが、その「お菓子」の魅力を引き出す一冊です。

100種類以上の洋菓子の特徴と歴史が載っており、知れば知るほど洋菓子が食べたくくなります。

どの甘いものを食べようかな?と悩んだときに、参考として読んでみてはいかがでしょうか。

(京)



『はらぺこサンタのクリスマス』 はらぺこめがね/作 E913 ハ

あしたはクリスマス。プレゼントを配るため大急ぎで出発したサンタさんは、ご飯が食べられずはらぺこ。あれはコンソメスープ?ミートローフ?街のあらゆるものが食べ物に見えてきます。なんとかプレゼントを配り終えたサンタさんに待っていたご褒美とは?

美味しそうな料理の絵に、こちらもはらぺこになりそう!サンタさんを応援したくなる一冊。

(ペコ)

『ドーナツのしあわせ 年間500種類食べる“ドーナツ探求家”の偏愛ノート』 溝呂木 一美/文と絵 596.6 ミ

専門店・パン屋・カフェなど国内外のいたるところでドーナツを食べている溝呂木さん。生地の製法の種類から歴史まで、変幻自在なドーナツの魅力を、カラフルなイラストとともに余すところなく紹介しています。特にカナダとオーストラリアのドーナツは大迫力!読めばきっと究極のご褒美ドーナツが見つかる、グルメガイド本です。

(K)

『聴くと聞こえる』 谷川 俊太郎/著 911.5 タ

谷川俊太郎さんが亡くなった。「巨星墜つ」と言ってもいいだろうし、「ひとつの時代が終わる」とも言えるだろう。しかし、どちらも陳腐だ。詩人・谷川俊太郎が死んだという事実だけが、いま目の前にある。その欠落感を埋めるにはしばらく時間がかかるだろうが、それでも私たちは日々を生きなければならない。

谷川の一冊を選ぶのは至難だが、「おまえが死んだあとで」を含む本書にする。

谷川からの贈り物が、私たちへのごほうびが目の前にある。

(キャラメル)

毎月、司書がひとつのテーマに沿って本を紹介します

※ () は司書のペンネームです

12月号テーマ

「ご褒美」